

スクールトピックス

花と共に思いやりの心を育む

子どもたちが協力して花を育てることで命の大切さや思いやりの心を育み、人権尊重への理解を深める「人権の花運動」が6月から猪苗代小と猪苗代第二小の両校で始まりました。

花の苗は、人権擁護委員の協力を得ながら各校に届けられ、マリーゴールド、サルビア、ペゴニア、プロフェーションの4種類の花の苗を児童が手分けしてプランターや花壇に植えました。



花の苗の贈呈を受けた猪苗代小の児童ら



(写真上) 植栽する猪苗代第二小の児童 (写真左) 代表で花の苗を受け取る猪苗代小の児童(左)



贈呈式に出席した猪苗代第二小の児童ら



フタバアオイを植える児童と宮澤宮司(右)

植栽を通じ郷土の歴史を学ぶ 猪苗代小学校

猪苗代小では6月11日、校章のモチーフになっているフタバアオイの植栽が行われました。フタバアオイは土津神社の御神紋になっており、土津神社鎮座350年記念事業の一環で実施。児童が土津神社の宮澤重嗣宮司と一緒に苗200本をプランターに植栽しました。来年6月ごろまで児童が育て、土津神社に奉納します。植栽を通じ、学校と神社の関わりや、郷土の歴史を学んでもらうのが目的。6年生の佐藤莉穂さんは「これから大切に世話をします」と話しました。

町内の施設を小学生が訪問 猪苗代小学校

猪苗代小の2年生は6月18日、生活科の学習で町役場や猪苗代郵便局など町内11施設を8班に分かれて見学しました。このうち4人が町役場を訪問。町職員の案内で1階から3階まで庁舎内を回り、各課の仕事内容について学びました。児童たちは、職員の説明に熱心に耳を傾け、疑問に思ったことを質問していました。訪れた児童は、「2階と3階には初めて来ました。いろいろな部屋があって、こんなにいっぱい仕事をしてるとは思わなかった」と話しました。



町役場3階にある議場の椅子に座る児童

ホットニュース

小板橋みくるさん そば対決で頂点に 「激突メシあがれ」

猪苗代高3年の小板橋みくるさんは、6月11日にNHK総合で放送された番組「激突メシあがれ 自作グルメ頂上決戦」に出演しました。この番組は、アマチュアがオリジナル料理で対決する番組です。小板橋さんが出演した回は、大河ドラマ「べらぼう」でもよく登場する「そば」がテーマで、3人の出演者が対決しました。



テレビ番組撮影の様子

料理対決で小板橋さんは、そば粉「いなわしろ天の香」のほか、「ヒシ」、「雪下キャベツ」、「ウチダザリガニ」といった猪苗代産をふんだんに使用した料理で見事、頂点に立ちました。

小板橋さんがそば打ちを始めたきっかけは、1年生のときの授業で行ったそば打ち体験。2年生のときの地域探究学習では「そばPR班」に入り、毎週金曜日の5、6時限にそば打ちを練習。3年生では、新しいそばつゆの開発と併せて、そば打ち練習をしています。

中学生の時は人前で話すのがとても苦手だったという小板橋さん。「猪苗代高校の地域探究学習では、大人の人たちと話す機会が多く、活動を通して人前で話すことが身に付きました。猪苗代高校には、少人数だからこそできることがあるので、入学して良かったです」と話してくれました。



小板橋さん(左)と料理対決の応援に駆け付けたそばPR班の3人

猪苗代高校への広域入学を応援します

猪苗代高校は、令和7年3月の入試から、全国どこからでも受験できる学校になりました。

そこで町は、猪苗代高校へ広域入学し、親元を離れ、勉学、スポーツ、地域探究などの目標達成に向けて努力する生徒とその保護者を応援するため、補助金を交付します。



■交付対象者

猪苗代町教育留学生として決定され、猪苗代高校に広域入学をした生徒の保護者
※留学生は、入試前に町が実施する選考を経て決定します。

■交付対象期間

生徒が在学し、下宿している期間(最大36カ月)

■補助金額

下宿代の3分の2の額(上限月額10万円)

■手続き方法など

手続き方法や詳しい内容は、教育総務課にお問い合わせください。

☎教育総務課 教育総務係 ☎0242(62)5677